

2022年6月4日発行

22-23号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**推し活**

最近、「〇〇活」ということばが、いろいろ使われていますが、その中のひとつに、「誰かにすすめたいほど好き」な人やもののことを「推し」と言い、そんな「推し」に情熱を注ぐ活動「推し活」があります。それについての記事がありました。「推し」いることによって、生きる意味があるとか、いやされるとか、「推し」がいるからがんばれると言う人もいます。そのことについて、川崎医療福祉大学の保野孝弘教授が心理学の視点から説明しておられます。

保野教授によると、人が推し活にハマるのは、心の中に満たされない部分があり、推しの存在が、それを埋めてくれると思うからだろうということです。また、自分がどんな人になりたいのか、目標がわからない場合、「こんな人になりたい」「出会いたい」と思う理想が、推しと一致したとき、その人を模範にして、外見、考え方、ふるまいなどをまねることによって、自分のアイデンティティを確立していけるそうです。

推し活の心理的効果は、①推しを育て、成長していく姿に満足する②関連グッズを購入したり、鑑賞したり、称えたりすることによって喜びを得る③ライブグッズなどを自分で作る創作意欲④ほかの人に魅力を広めるときに感じる喜びなどがあるそうですが、なによりも、自分が好きなことにお金や時間を費やせる喜びが大きな力になって、ストレスの発散にもなっているということです。そして、人は過去を考えると後悔、未来を考えると不安になるので、いまの状態や自分の好きなことに集中することによってリラックスする、マインドフルネスの状態になることが幸せにつながっていると言われています。ほかにも、推しに会えるかもしれないということで身なりを整えるといった、恋人目線の応援をしたり、親子やファンで同じ推しを応援する人とのコミュニケーションは、共感するポイントも多いので、自分の承認欲求が満たされるのだろうということです。

ただ、楽しいはずの推し活も、疲れてしまったり、仲間同士で比較したりして、いやな思いになることもあるそうなので気をつけようと言われていました。（6月３日号さりお109号＜推しがいる幸せ！＞より）

昔からアイドルやタレントのファンがいて、夢中になってブロマイドを買ったりすることはあったので、ことばが変わっただけで、昔も今も、人はなにか、だれかに夢中になったら幸せだと感じるということでしょう。しかし、長い年月が過ぎたあと「心の中の満たされない部分」は、しばらく目を向けていなかっただけで、まったく関係なく存在していることに気づくのではないでしょうか。人の心は、だれか、なにかによっては、絶対に満たされることはできません。満たされているように思うのは、一時的なことであって、ほんとうには、みんな過去を後悔、未来は不安を抱いて、さまよいつつ生きています。なぜ、そのようになるのでしょうか。推しでは絶対に解決できない、本当の問題はなんでしょうか。そして、まことの解決はなんでしょうか。それについて、お伝えしたいのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください